

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 4 日 (14 : 00～15 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	12 人	1 人		14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々のケアを通し何気ない言葉などをタブレット上の記録に残し、スタッフ間で共有する。 受け持ち担当が中心となり、暮らしの情報シートを充実させ活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの記録の残し方として「☆印」や「●赤丸」の活用を行う事で、ポイントとなる事をスタッフへ伝える事は出来た。 暮らしの情報シートを記入する事や管理方法 (ファイル管理) により、上手く活用できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6 人	7 人	1 人		14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3 人	11 人			14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4 人	8 人	2 人		14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5 人	7 人	2 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 特に利用開始当初は、可能な限り時間の確保を行い会話を多く持つように意識した。また、本人に寄り添う言葉かけに勤めた。また、経過記録の中で、本人の思い (言葉等) のポイントになる言動を意識し記録したことで、他職員へもポイントの共有や声掛けの仕方など共有し、関係作りを行う事ができた。 ミーティングや日々の申し送りの中で情報の共有を行う事ができた。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者毎の受け持ち担当制をとっているが、現在に至るまでの背景など、十分に把握する事ができていない。 個別のニーズ (希望や要望も) を把握しても、その内容をまとめ、他スタッフへの共有や周知などは上手く出来ない事もあった。(暮らしの情報シートの活用やタブレットの確認不足) 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>一定期間 (利用開始 6 ヶ月程度) は特に受け持ち担当を中心に今までの生活状況等の情報の収集に努め、併せて継続的に本人 (家族) の思いについて把握していく。</p> <p>方法として、記録の残し方の工夫によりタブレットと暮らしの情報シートを関連付けたり、ミーティングの場において議題として取り上げたりし、スタッフ間周知できるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 4日 (14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	9人	1人		14人

前回の改善計画	日々の会話を多く持ち、本人、家族との良好な関係づくりに努め、そこから利用者のニーズを引き出していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会話の機会を多く持つことや、家族も含めコミュニケーションを多く持ったことで、良い関係性は持っているとされる。更に、思いやニーズを引き出すことは十分できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2人	6人	5人		14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	7人	3人	1人	14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	6人	7人		14人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3人	8人	2人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・その場での要望や、どうされたいかなどは、その都度傾聴し、その場での完結できるような事であれば直ぐに対応は出来た。 ・会話の中から「～したい」との声が聞かれた際は、受け持ち担当や当日出勤しているスタッフと共有し、ミーティングに挙げた上で実現できたこともあった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「～したい」との思いを、ケアの中で具体化する事が難しかった。 ・中、長期的なニーズに対して、毎日の決められたケアが中心となる関わりが多くなってしまった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>「～したい」という思いやその先の目標につながることを引き出すことを、日々のケアの中で意識する。その際、どの様にアプローチしたら思いを引き出せたかという事を記録に残し職員間で共有する。聞き取れた思いはミーティングで取り上げ、実現に向け具体的に話し合う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 5日 (14:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	8人	1人	14人

前回の改善計画	受け持ち担当者が「以前の暮らしシート」を作成・発信・活用することで、利用者本人らしさを共有し、本人が自分らしい生活の継続を実現できるように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・以前の暮らしシートは十分に活用出来なかった。本人らしさの共有については、普段の生活習慣の把握や言動や、表情を観察しながら本人らしさのヒントを得ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3人	10人	1人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	12人			14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	9人	4人		14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5人	8人	1人		14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	11人	1人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調の変化やいつもと違うなど思った際は、介護と看護での連携を図り、他職員へも共有できた。また、気持ちの変化（落ち込みなど）に応じて、サービス方法を変更する事も出来た。 ・自宅での生活習慣や環境に併せ、センター内で過ごしていただく時にも、可能な限り習慣に近づけた時間を過ごして頂く様務めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・現在の状態を把握する事に注視してしまう事が多かった。その為、「以前の暮らし」を意識する事が十分でなかった。 ・受け持ち担当以外のご利用者の情報を把握しきれなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・基本的な介護や変化に対するときなど、スタッフ間で支援の方法が異ならないように、受け持ち担当を中心に定期的に話し合い確認を行う。(およそ3か月毎) ・以前の暮らし方に着目した上で、現在の日常生活の支援を行う事の意識を持つようにする。(ミーティングやタブレット記録、暮らしの情報シートの活用)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 5日 (14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	5人		14人

前回の改善計画	利用者の個別性を尊重し、エコマップを作成し、ネットワークを整理・把握することで、地域との関りを深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	エコマップを作成し、ネットワークを整理・把握することは出来たが、活用時期も遅く、十分に活用しきれなかった。 地域との関わりについては、民生委員やご近所との連携も出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	7人	5人		14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3人	10人	1人		14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	5人	7人		14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6人	8人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が、地域で誰とかがかわりがあるか理解する事ができ支援につなげられた。 ・ケアマネ以外でも、民生委員や地域の方との連絡を取り合う場面が出来た。 ・一人暮らしのご利用者の支援の中で、家族への電話等では、関係性（サポートなど）が途切れないように、ねぎらいの言葉かけをするようにした。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会資源を知る事ができなかった。 ・ご本人のまわりとの関わりを知る際にエコマップを作成したが、作成時期も遅くなり、十分に活用しきれなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
エコマップの活用を充実させご利用者を支える方の関係や地域との関わりを理解し、ご本人が地域の一人であることの意識を持って意識したケアを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 6 日 (14 : 00～15 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	10人			14人

前回の改善計画
本人のニーズに合わせた支援を行うため、利用者の心身の状況を、定期ミーティング等で評価し、変化に対応し、柔軟なサービスおよびインフォーマルなサービスとの連携を行い変化に対応した支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
自事業所以外のサービスとの連携や、地域の活動の体操教室などに参加したことで、本人の活動意欲を意識したケアが出来た。
また、状態変化があった際には、随時、自事業所のサービスの調整を行い、変化に対応し支援出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4人	9人	1人		14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5人	9人			14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	10人			14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4人	9人	1人		14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・配食サービス、有償ボランティアによる掃除の支援、移動販売車等の自事業以外との連携が出来た。
 ・地域の体操教室などへの参加支援を行い、地域の方との交流を持てた。
 ・状態に応じて、通い、訪問、泊まりの必要性を、ケアマネの提案できた。
 ・マイナスの変化だけでなく、プラスの変化についてミーティングで共有する事ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・活用できる社会資源を十分に把握できていない。
 ・本人のストレングス（強み、可能性）を掘り下げ共有できていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域の中でどの様支援が行われているが、その他社旗資源を理解・把握を行い、ご利用者の状態に合わせて、サービスを提案出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 6日 (14:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	7人	1人		14人

前回の改善計画
・ 広報誌を用いて、サポートセンターの機能を情報発信を行うことで、地域住民へ事業所の役割を知って頂く。 ・ 町内会議等へ出席し、地域の声を引き出し、地域連携を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ 広報誌の内容を質問に来訪される方や、徘徊高齢者の保護を行うなどの支援もあり、地域の相談窓口の一旦は担えた。 ・ 町内関係の会議には、一定の職員の参加となってしまった。その内容の共有が十分に行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等)との会議を行っていますか?	6人	4人	2人	2人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6人	2人	2人	4人	14人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	7人	5人	2人		14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5人	8人	1人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ 担当者会議の他にもフェニックスネットを活用し、ご利用者の状態や変化を共有、協議出来ている。 ・ 地域の夏祭りや、防災訓練に参加できた。 ・ 地域の地域包括支援センターと共に、民生委員会議や班長会議等に参加し、地域の状況や課題を共有できている。 ・ サポートセンターとして、地域に向けたイベントなどを実施し、地域の方よりセンターへ来ていただく機会を持てた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ 地域に向けたイベントなどを実施し、地域の方よりセンターへ来ていただく機会を持ててはいたが、新型コロナウイルス感染症の社会的な影響もあり、以前のような賑わいまでにはならなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・ 広報誌を用いて、小規模多機能及びサポートセンターの機能と魅力を発信し、多くの方に認知して頂く。 ・ 地域の集まり等に参加し、地域との連携を深めることで、地域の声を引き出していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 7日 (14:00~15:00)

7. 運営

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人		14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">アンケート調査等を通し、ご利用者・ご家族の意見や苦情を引き出していく。運営推進会議や地域会議により多くの職員が参加をし、地域課題に対し共に取組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	アンケート結果をスタッフへの周知が十分でなく、担当職員以外の意識が薄くなってしまった事があった。しかし、定時ミーティングでは、都度、ご利用者の声を共有するようにした。運営推進会議には、半数程度の職員が参加する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4人	4人	6人		14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5人	8人	1人		14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5人	5人	4人		14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4人	3人	7人	人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">日々の会話の中から、意見や要望などを聞き取り、定時ミーティングで共有し、要望に対応する事に取組んでいた。運営推進会議や地域の会議等への参加や、その他にも地域の方へ積極的に挨拶や会話などと多く持ち、ご意見を頂くようにした。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">運営についてなどに意見を伝える気とはなかった。担当以外の職員は担当に任せきりになってしまう事も多かった

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">苦情、要望担当者を中心に、ご利用者、ご家族、地域の方々等からの意見や苦情に対し、事業所として具体的にどの様に対応していくか職員全体で考えていく。(ミーティング時等)地域の課題に事業所として地域の方々と共に取組んでいけるよう、運営推進会議や地域会議等に多くの職員が参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 7日 (14:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人			14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・事故防止対策委員を中心に起きた事故の傾向を把握、同じ事故を繰り返さないために、ミーティング等を活用してリスクマネジメントの意識を高めていく。・事業所内外の研修に参加し全体で共有することにより、全体のスキルアップに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・センター共同で事故対策委員会を3ヶ月1回実施。且つ事業所としても毎月のミーティング時に事、事故、ヒヤリハットの振り返りを実施した。・外部研修においても年間6回程度参加し、参加できなかった職員へも伝達研修を実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6人	7人	1人		14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	7人	3人	1人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	5人	4人	4人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	10人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・個別研修計画を個々に立て、自己学習に努めている。また、事業所内研修としては、センター共同で行い、他部署との連携も図り、研修の質も向上できた。・事故対策委員会を中心に、センター内では他部署と共同で3ヶ月に1回、自事業所としては毎月のミーティングを活用しヒヤリハット・事故分析を行い、事故対策、リスクマネジメントに取り組んだ。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	起きた事故に関しては、対応、対策を検討出来ていたが、予測されるリスクに対して起こってからではなく予防的な対応を考えながら行動する事が十分でなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・スキルアップと同時にコミュニケーション能力の向上を図る為、事業所内外の研修に参加し、知り得た事柄について全体で意見を出し合い話し合う。・事故防止対策委員を中心に、発生した事故の再発防止策を検討する。ミーティング等を活用し、再発防止策の検討を今後発生しうるリスクの回避にまで広げ検討することにより、リスクマネジメントの意識の向上に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 9 日 (14 : 00～15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	11 人			14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・不適切ケアになりえる言動がないか互いに注意し合い、定期的に評価を行っていく。・職員間の情報共有の場において、個人情報に配慮した接遇を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
身体拘束・高齢者虐待委員会を中心に定自己のケアについての振り返りを行う事ができた。(虐待チェックリストの実施) 日常的な申し送り等、他のご利用者へ会話が聞こえてしまうような場面も出来てしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11 人	3 人			14 人
②	虐待は行われていない	11 人	3 人			14 人
③	プライバシーが守られている	7 人	6 人	1 人		14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6 人	7 人		1 人	14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5 人	8 人	1 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・虐待チェックリストを活用し定期的に評価し、自己の振り返りを行った。・定時ミーティングにて日々のケアが不適切ケアになったくないか確認をした。・成年後見制度について、必要性を助言し支援につながった。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・日々のケアの中で職員同士での言動など (不適切ケアになる可能性がある言動) 声掛けや注意する事が十分できなかった。・ケアについての申し送り等、周りに聞こえてしまう場面があった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・定期的 (3 ヶ月毎) な虐待チェックを継続し、ケアの振り返りを行い、事業所全体のケアの質の向上を行う。・個人情報の 1 つ 1 つに配慮し、特に、申し送り時の場面では、周囲への気遣いや情報の漏洩にならないように対応する。